

感染症の防止に 効果大!

オフィスを正しく 「加湿」しよう

冬場は、オフィスが乾燥することで感染症にかかるリスクが高まることが懸念されます。そこで、導入を検討したいのが加湿器。加湿器の種類や特徴と適切な設置・管理の仕方を解説します。

テクニカルライター
小暮ひさのり

乾燥する季節になると、感染症防止のために「うがい」「手洗い」に加えて「加湿」が求められます。うがいや手洗いは、ここ数年のパンデミックの影響もあって慣習化されていますが、加湿は清潔さのイメージに繋がりにくいため、おろそかにされがちです。

しかし、事務所衛生基準規則に「相対湿度が40%以上70%以下になるように努めなければならない

部屋の加湿は 感染防止に有効

い」とあるように、オフィス内では湿度の管理も大事です。

インフルエンザウイルスは、室温20℃の空間では湿度50%以上になると感染力が大きく低下するという研究結果があります。

また、喉の乾燥を防ぐことで、人体のウイルスをブロックする力を上昇させる効果や、くしゃみや咳などで生じる飛沫の飛散防止にも効果を発揮します。

この加湿による感染力低下は、新型コロナウイルス対策としても有効だとされています。

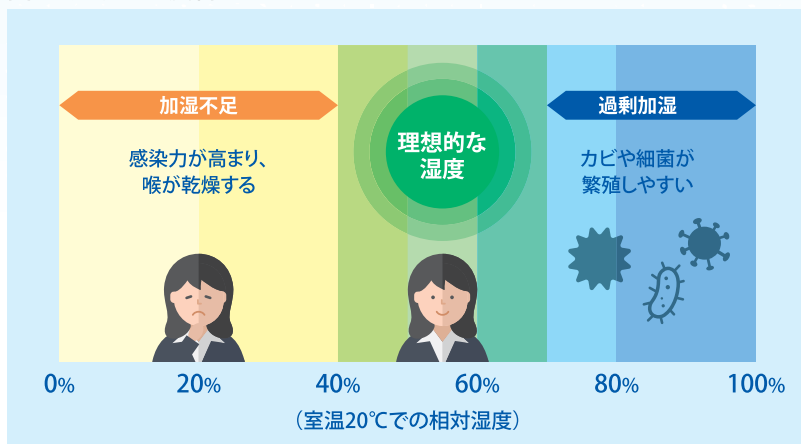
スーパーコンピュータ「富嶽」によるシミュレーション

では、湿度が上がることで飛沫が微細な粒子（エアロゾル）化しにくくなるため、遠くまで飛散するのを防ぐ効果があるという実験結果があります。

一方で、湿度が高くなりすぎると、カビや雑菌が繁殖しやすい環境となってしまうので、ウイルスとは別の健康被害が危惧されます。そのため、室温20℃で湿度50～60%を目安に温度と湿度を管理・維持するのが望ましいと言えます（図1）。

ただし、湿度を求めて部屋を密閉してはいけません。密

図1 適切な湿度管理とは



閉された空間ではウイルスが感染しやすいため、複数人で働く環境では定期的な換気によってウイルスを外へ追いやる対策も求められます。

つまり、常に加湿と換気はセットで考える必要があるのです。そのため、換気を行なうことによって下がった湿度を素早く回復できるようにパワフルな加湿器が必要となります。



写真
3

製品名: **F-VXU90**

メーカー: パナソニック
方式: 気化式
加湿量: 870ml/h
対応畳数(プレハブ洋室): 24畳まで
オープン価格

加湿トレー内の水の菌やカビを抑制する「イオン除菌・防カビユニット」を搭載。加湿フィルターのメンテナンスは月1回でOK

製品名: **FE-KXP23**

メーカー: パナソニック
方式: 気化式
加湿量: 2300ml/h
対応畳数(プレハブ洋室): 64畳まで
オープン価格

大風量の気化式加湿機。消費電力が少なく、中モードでの稼働であれば、電気代は1か月約117円



写真
1

製品名: **HD-244**

メーカー: ダイニチ
方式: ハイブリッド式
加湿量: 2400ml/h
対応畳数(プレハブ洋室): 67畳まで
オープン価格

加湿速度の速い温風のハイブリッド式。60.6畳(100㎡)のスペースでも、湿度30%から50%へ45分で到達できる。取替え式のトレイカバーで、メンテナンス性と清潔性を両立



写真
2

フロア全体を素早く
加湿できるハイパワー型

まず導入を検討すべきは、フロア全体を加湿できる、ハイパワーな加湿器です。

パナソニックのヒーターレス気化式加湿機「FE-KXP23」(写真1)は、対応畳数64畳まで(プレハブ洋室)。オフィスなどの大空間にも対応できるパワフルな加湿器です。水を含んだフィルターに風を送って加湿するフィルター気化式の加湿なので、消費電力が少ないというメリットもあります。

換気後の加湿速度を求めるなら、ダイニチの「HD-244」(写真2)がよいでしょう。対応畳数67畳まで(プレハブ洋室)。フィルターに風や温風を当てるハイブリッド式(気化式×温風気化式)なので、気化式よりも素早く室内の湿度を戻すことができます。

別売でキャスターも販売されているので、好きな場所へ移動させることができることもポイントです。

なお、加湿器のスペック値にある対応畳数は最大値となります。加湿の速度や静かさを求めるな

ら、1台でフロア全域をまかなうのではなく、フロアに複数台をバランスよく配置しましょう。

オフィスの中央や、エアコンの風が通る場所を意識して設置すると効率のよい加湿が行なえます。

会議室などに採用しやすい
空気清浄機能付きモデル

会議室では、空気の状態が悪くなりがちです。ほこりやアレレルゲンもこもってしまうので、空気清浄機能付きの加湿器を選ぶとよいでしょう。

パナソニックの加湿空気清浄機「F-VXU90」(写真3)は最大24畳までに対応した加湿量を持ち、空気清浄機能としては、高品質なフィルターと「ナノイーX」テクノロジによって、PM2.5などの微粒子、さまざまなアレレルゲン、カビやほこり、匂いなどを除去できます。デザイン性が高く、メンテナンスの頻度は月に1〜2回で済むなどの特長もあります。空気清浄機能に定評があるのが、Dyson(ダイソン)です。

「Dyson Purifier Humidity+Cool Formaldehyde」(写真4)は加湿対応畳数こそ10畳と広くありませ

製品名: **KSHM-120RA-W**

写真
6

メーカー: アイリスオーヤマ
方式: 加熱式
加湿量: 120ml/h
対応畳数(プレハブ洋室): 3畳まで
オープン価格

水を加熱して気化させる加熱式。加湿能力が高く衛生的に利用できる



製品名: **Dyson Purifier Humidify+Cool Formaldehyde**

写真
4

メーカー: ダイソン
方式: 気化式
加湿量: 350ml/h
対応畳数(プレハブ洋室): 10畳まで
99,000円(税込)

空気中の有害物質も除去できる高性能なフィルターを搭載。加湿能力は高くないが空気清浄機+送風機として通年利用できる



製品名: **卓上CO₂モニター**

メーカー: キングジム 9,900円(税込)

室内のCO₂濃度・温度・湿度を可視化できる。
CO₂濃度と湿度で換気の目安を立てられる

写真
5

製品名: **HCE-HU2101Uシリーズ**

メーカー: エレコム 方式: 超音波式
加湿量: 30ml/h 対応畳数: スポット
3,509円(税込)

ペットボトルやコップに入れて、いつでもどこでも手軽に加湿できる



写真
7

**パーソナル加湿器で
自分の周囲を加湿**

フロア全体の加湿だけでなく、自分を中心としたパーソナルな加湿器も用意しておきましょう。換気によって部屋全体の湿度が下がっても、自分の周囲をすぐに加湿できるので安心です。

キングジムの卓上CO₂モニター(写真5)で、空気の状態を可視化できるようにしておくといでしょう。

なお、閉ざされた会議室などではどうしても密になりがちなので、特に換気に気をつける必要があります。

キングジムの卓上CO₂モニター(写真5)で、空気の状態を可視化できるようにしておくといでしょう。

が、高性能なセンサーとフィルターの超微粒子やほこりに加え、ホルムアルデヒドなどの有害物質も分解します。小会議室やパーティションで仕切られたエリアなどで、加湿と空気の状態の両方を向上させてくれるモデルです。

水を加熱して気化させる加熱式なので、雑菌などが繁殖しにくく衛生的に加湿することができま。また、加湿器から冷たい風を受けたり、気化熱で室温を下げる心配もありません。ただし、熱で水を沸騰させているため、消費電力は高めです。

さらに手軽に加湿できるのが、エレコムの「HCE-HU2101Uシリーズ」(写真7)です。加湿範囲は自分の周囲だけですが、USB電源で利用でき、グラスやペットボトルなどを使って、いつでも手軽に加湿できる汎用性があります。水をそのままミストにして噴出する超音波式なので、水質の衛生管理には留意が必要です。グラスやコップなど洗いやすいものを利用して、給水時に毎回洗浄するように心がけましょう。

アイリスオーヤマの加熱式加湿器「KSHM-120RA-W」(写真6)は対応畳数3畳の小型モデルで、デスク上にも設置することができます。

うがい、手洗い、そして加湿と換気。新型コロナウイルス対策として、これまで心がけてきた対策をしつかりと行なっていけば、インフルエンザや風邪のウイルス対策にも繋がります。湿度はバリア、換気はリスク軽減と考えて、加湿と換気のサイクル化を心がけましょう。

これまで、ひさのり編集プロダクションを経て独立。PC誌やWEB媒体を中心にデジタルアイティムのトレンドを追っている。特技は掃除で、ハウスクリーニングアドバイザーの資格も所有している。